

在京 下郷会だより



町の鳥(鶯) 花(ふじ) 木(白樺)

第40号

編集 在京下郷会だより
編集委員会
発行 在京下郷会
事務局 下郷町役場
産 業 課
商 工 観 光 係
電話: 0241-69-1144
東京連絡所 (株)若松通商
電話: 03-5754-3040

平成二十九年

新年のご挨拶



在京下郷会
会 長 中野善次

あけましておめでとうございます。
謹んで新年のお喜びを申し上げます。
在京下郷会、下郷町の皆様には、お幸せな新年をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。平素は在京下郷会にあたたかいご支援・ご厚情を賜り感謝いたしております。

我が国の経済は、企業収益や設備投資の弱含みは続くも、足元の円安は朗報を感じます。米大統領選挙後、為替レートは円安方向に転じており、この円安水準が今後も定着すれば企業収益の改善を後押しするでしょう。

東日本大震災から五年九ヶ月を経過しましたが風評被害は払拭されておらず、復旧・復興のペースも上がっておりません。また、オリンピックの建設は着々と進んでいるものの災害復旧の進捗があまり

にも遅く国の施策も問題と思えます。

一方、会津縦貫南道路の小沼崎バイパス、湯野上バイパス本町区間の整備は着々と進められており、その早期完成を大いに期待をしているところであります。

また、東武鉄道は今春、特急列車を浅草から会津田島まで乗り入れることを決定しております。移動手段の快適性向上が期待されております。

昨年の「在京下郷の集い」は、十月二十九日東京日暮里の「ホテルラングウッド」にて、総勢百三十九名のご参加をいただき盛大に開催することができました。

交流パーティーでのイベントは、三ツ井集落が誇る「三志大神楽芸能保存会」による郷土芸能がご披露されました。初めて鑑賞する方々が多く感激いたしました。今年の「在京下郷の集い」は、十月二十八日(土)同ホテルで開催する予定です。友人・知人お誘いのうえ、ご参加されましようお待ちしております。

新年を迎え、ふるさと下郷町のますますの発展と会員・町民の皆様のご健康をお祈りしご挨拶いたします。

年頭のご挨拶

下郷町長

星 學



新年あけましておめでとうございます。
在京下郷会の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、ふるさと発展のため、日頃よりご支援とご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

昨年開催いたしました在京下郷の集い「ふるさと懇談会」では、在京会役員の皆様から町発展のために貴重なご意見、ご提案を賜りました。「美しく輝く笑顔あふれる交流のまち下郷」を目指した第五次下郷町振興計画とともに、町民一人ひとりが幸せな暮らしを実感できるまちづくりに向けて、行政と皆様が課題を共有し、共通認識のもと取り組んでまいりたいと思っております。

今年は、東日本大震災が発生して六年を経過しようとしております。観光客の入込状況は増加傾向にはありますが、ま

だ最盛期までには回復していない状況にあります。

そうした中、春には、東武鉄道の新型特急「Revaty(リバティ)」が会津田島駅まで乗り入れが決定し、都心と会津エリアが身近になり、移動手段としても便利になることが期待されます。これを契機として、下郷町の豊かな自然や文化、歴史等の地域資源を活用した着地型観光を推進し、観光産業に携わる関係者が一体となって誘客促進に努めてまいりたいと思っております。そのためには、町に縁のある皆様を下郷町の情報や安全安心の発信源の頼りとするところであり、今後もより一層、深いつながりを大切にしていきたいと考えております。

また、私が掲げました三つの基本政策「地域の特色を活かした活力ある交流のまちづくり」、「安全・安心・健康で暮らせる住みよいまちづくり」、「思いやりのある教育と文化のまちづくり」の実現のためには、皆様と行政の協働が何よりも必要不可欠と考えております。地方創生に関しましても、田園回帰の潮流を生かし、地域活力を維持発展させるため、更なる交流人口の拡大に向けての施策について、平成二十九年当初予算を編成しているところであります。

結びに、ますます輝く下郷町を築きあげるため、今後も在京下郷会の皆様の培ってきた経験と知恵を生かしたお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、在京下郷会の発展と会員の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

年頭のご挨拶

下郷町議会議長

佐藤 勤



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

在京下郷会の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、ふるさと下郷発展のため、日頃からのご支援とご協力に心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、人口減少、そして少子高齢化が急速に進む中、福祉事業の充実と子育て支援環境の強化はより重要性を増してきており、国の施策である地方創生事業への積極的な取り組み、そして人口減少への歯止め、安心して暮らせる町づくりが喫緊の課題であると考えております。

そうした中、首都圏につながる国道二八九号線南倉沢工区が間もなく完成となることは非常に喜ばしく、地域の産業振興の発展により期待が持たれるものであります。また、会津縦貫南道路の小沼崎バイパス、湯野上バイパスが着々と進められ、これらの早期完成に期待するとともに、完成後の施策展開に向けて、効果あるアイデアを出し合いながら、下郷町の発展に向けていく必要があります。

主要産業である農業と観光としては、TPPにおける自由貿易交渉が不透明であること、さらには東日本大震災による原子力発電所事故による風評被害が今もなお影響があることから、新たな町産品の開発や6次化産業への取り組みが必

要であり、そうした中で地域資源を活かした観光振興がより重要性を増してくるものであります。

このような現状の中、首都圏にお住いである在京下郷会の皆様のご意見は非常に貴重であり、今後におきましても、お互いに議論を高め、ふるさと下郷の発展に寄与していければと考えております。

私も町議会は、昨年四月に改選し、新人議員四名を加え新たな体制でスタートしており、多くの課題に向けて自らの責務を自覚し、町民の声を町政に反映できる議会、そして町づくりを目指していく所存であります。

多くの下郷町出身者が「帰ってきたい」と思える町にしていくため、より一層の努力を傾注して参りますので、皆様方の引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、在京下郷会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念し、健康で幸せな年でありませうことをお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあたり

参議院議員

室井邦彦



旧年中は、大変お世話になり誠に有難うございました。皆様にとりまして、本年も実りある一年でありますよう心からご祈念申し上げます。

在京下郷会の皆様は、ふるさとを離れ

ても、強い絆でお互いが結ばれ、交流を深めつつ下郷町を応援していただいていることに、深く敬意と感謝を申し上げます。

急速な高齢化は、社会保障費を増大させ、地方財政の赤字化の要因となっております。

地方が衰退し、集落を消滅させないため、地方財政の健全化と社会保障の改革が不可欠です。

筑波大学の久野教授は、平均年齢七十歳以上の高齢者のうち、運動する人と運動しない人とは、医療費は年間十

万円も違うとする研究成果を発表されました。私を含め団塊の世代はおよそ八百五十万人だと言われています。その一人ひとりが元気であれば、約八千五百億円もの医療費の削減につながります。

そこで、議員会館にある十一階の事務所や六百段ある東京タワーの階段を、エレベーターを使わずに階段で昇り降りする運動を始めました。医療費削減に貢献するため、誰でも簡単に始められる階段の昇り降り運動の輪を、団塊の世代の人たちに広く呼びかけていきたいと思っております。

自然の素材の家

株式会社 志木

代表取締役社長 星 正邦(成岡)

E-mail : sanyo-h@proof.ocn.ne.jp

お気軽に検索

詳しくはホームページへ

自然の素材の家 志木 を 検索

〒969-6214 福島県大沼郡会津三里町 富川字向川原中ノ切乙1446-1

TEL : 0242-54-3321 FAX:0242-54-3323

GR-SAKURA FULL R X63N開発ボード

GR-SAKURA IIFULL パージョンアップ 内部メモリー256Kで新登場!

¥5,480

GR-SAKURAボードは若松オリジナル開発ボードです。おかげさまでもちまして売り上げ枚数 50,000枚突破! 詳細は下記 HPを参照ください http://www.wakamatsu-net.com/biz/

裏面



Wakamatsu

株式会社 若松通商

代表取締役社長 室井 軍三(小池)

東京都大田区雪谷大塚町6-6

TEL03-5754-3040 FAX03-3748-6102

秋葉原駅前店: 東京都千代田区外神田1-15-16

会津営業所: 福島県会津若松市駅前町7-12

第二十六回 在京下郷の集い

在京下郷会

会長 中野 善次

第二十六回「在京下郷の集い」は、昨年の十月二十九日東京都荒川区日暮里の「ホテルラングウッド」にて、在京会会員、下郷町より星 學町長外関係者多数が参加され盛大に開催することができました。

一. ふるさと懇談会

今回より開始時間が三十分早く開催することになり、午前九時三十分二階「孔雀」の間において、星 學町長、佐藤 勤町議会議長及び議員の皆さま、在京会から中野会長外役員が出席しました（総勢三十九名）。

今回から在京会役員の女性三名の出席があり念願をかなうことができました。

◎星 學町長の挨拶(要旨)

- ①この懇談会が町の発展につながるよう、皆様よりご意見を伺いたいと思います。
- ②下郷町は紅葉で大変綺麗な状況です。
- ③国道二八九号南倉沢トンネルが貫通しました。
- ④町への観光客が二百万人、一日五千四百七十人で、町人口六千二百人に匹敵するくらいお出でいただいています。
- ⑤これから人口を多くしまして、雇用拡大、定住環境の整備などに取り組んで

まいります。今後ともよろしくご支援下さるようお願いいたします。

◎中野会長の挨拶

星 學町長、佐藤 勤町議会議長及び議員の皆様にはご多忙にもかかわらずご出席を賜り厚くお礼申し上げます。在京会からの提案事項は二件であります。

- (1)日暮滝付近へのトイレ・駐車場整備
- (2)ふるさと納税について
皆さまよりの活発な質問・ご意見をいただきましたと思います。

◎ふるさと懇談会討議

中野会長が座長となり在京会からの提案に対し貴重なご意見を頂いた。中野会長から今までの提案についてどのようになっているのか説明を求め、事務局から次のとおり報告があった。

- (1)日暮滝の駐車場整備について(二十七年に提案)
 - ・日光国立公園や保安林等の規制がある。難しい問題。現在のスペースを有効活用している。
 - ・昨年は奥州駒返ししの碑、今年は戊辰戦争時の青龍隊隊長が戦死したとされる峠への遊歩道整備を計画している。
 - ・観音沼から日暮滝を含めた会津中街道については新たな観光地として重要視している。
- (2)集い時の町の特産品販売の実施について

- ・二十七年から実施しており、今回も交流パーティー会場入り口前で実施した。
- (3)集い時の地元食材を使った料理メニューの提供について
・張平の里芋を使った「芋煮汁」が出ました。

(4)戸石川の清流化について

・河川については、県の管理であるが、町では合併浄化槽の普及を図っており、十分きれいな川である。漁協でも放流しており、清流という認識であると聞いている。

◎ふるさと納税について

主な発言内容を左記に示します。

- ・室井幹事長：ふるさと納税には、プロジェクトチームを立ち上げるぐらいの対応が必要。納税の半分はお礼などというキャッチフレーズを考えるのも大切。また、返礼品を全国から集めることも必要。ポイント制もある。大内宿で、下郷町はこうですと、返礼品の見本を飾ってアピールすればよい。
- ・星町長：今年度より、担当部署を変えて対応している。生産者の収入になるものであれば、一万円の寄付に対して一万円の返礼品でもよいと思っている。
- ・櫻木副幹事長：下郷の米はうまいので全国にPRする必要がある。
- ・猪股謙喜議員：下郷に来てもらうことも面白い。返礼品は一本に絞らなくても良いのでは。
- ・高橋副幹事長：返礼品は仲間に自慢できるものがよい。下郷の米や原木マイタケなど。

ふるさと懇談会：ふるさと納税や町の観光資源について活発な意見が交換されました



佐藤文章幹事：交流体験



室井幹事長：ふるさと納税全般



佐藤隆志幹事：下郷の米



佐藤学幹事：納税者の対象



室井亜男議員：下郷の米



星町長：ふるさと納税に対する見解



小玉智和議員：返礼品



猪股謙喜議員：返礼品

二、第二十六回定期総会

午前十一時四十五分より二階「丹頂」にて、定期総会が開催され、佐藤事務局長（産業課長）の司会により、星（定）副会長の開会のことば、次に、主催者側を代表し中野会長が挨拶を行った。

一、挨拶の要旨

第二十六回定期総会を開催するにあたり、会員の皆様、下郷町長星 學様、町議会議員佐藤 勤様、議員の皆様及び町関係者のご出席を賜り厚くお礼申し上げます。

国内景気の行先は不透明であります。今年も天候不順の影響で物価の高騰が続き、一般の家庭は大変な痛手を被っております。

町は、第五次振興計画をベースに着々と進んでおります。

国道二八九号南倉沢工区開発と会津縦貫南道路の小沼崎バイパスの完成が待たれます。この道路は会津若松と塩生と南会津町(田島)に至る約五十kmの道路です。十月一日～十一月二十日の祝日には「会津下郷循環バス」が運行しています。大内宿、塔のへつり、養鱒公園、金子牧場等の観光PRに取り組んでおられます。

在京下郷会としては、少しでも町に寄与できるよう役員一同努力する所存です。会員の皆さま、来賓の皆様のご支援・ご鞭撻をたまわりたくお願い申し上げます。下郷町のますますの発展と

皆様のご健康とご繁栄をお祈りし、ご挨拶といたします。

二、祝辞

次の方からお祝辞をいただきました。

- ・ 下郷町長 星 學様
- ・ 町議会議員 佐藤 勤様
- 三、来賓紹介
- ・ 下郷町長 星 學様
- ・ 町議会議員 佐藤 勤様
- ・ 町議会議員一同様

紹介者：室井町議会事務局長

四、審議内容

中野会長が議長になり次の議事を審議し承認可決しました。

- (1) 平成二十七年事業報告
- (2) 平成二十七年収支決算
- (3) 平成二十七年基金会計収支決算
- (4) 平成二十八年事業計画
- (5) 平成二十八年収支予算

(6) 役員の変更

- ① 新任 佐藤 学 (小松川出身)
- ・ 幹事 齊藤 昭平 (大松川出身)
- ・ 幹事 安齋千恵子 (桧原出身)
- ・ 幹事 お二人には長きにわたり在京会にご尽力をいただき感謝いたします。
- ② 退任

第26回定期総会

前回と同様に
町民の歌～飛躍の明日へ～
の斉唱で開会となりました

- (1) 山あり 二岐 小野岳は 緑に映えて 幸を呼ぶ
光る大川 湯の煙 希望と意気に 燃える町・・・
- (2) 里あり 江川 旭田と 檜原の町 手を結び 歴史新たに
奮い立ち 理想と平和 創町・・・

町と在京会員とのふるさと一体感を募らせる
なんと素晴らしい歌でしょうか



天然温泉

会津湯野上温泉

つるや旅館

“またまた” そうおっしゃっていただける宿

969-5206 福島県南会津郡下郷町湯野上字居平乙752

☎0241-68-2146・fax0241-68-2647

4000坪もの自然林に囲まれた一軒宿



洗心亭

せんしんてい

969-5201 福島県南会津郡下郷町高崎字寄神乙1614

TEL0241-68-2266/FAX0241-68-2269

三、交流パーティー

午後一時より二階鳳凰にて「交流パーティー」が実施された。司会はベテランであります副幹事長大竹力夫さんです。

パーティーに先立ち郷土芸能「下郷大黒舞」を昨年に引き続き佐藤勇平様（大松川）が披露していただきました。また、会員の皆さんと記念撮影をするなど賑わいを見せました。

続いて、中野会長の挨拶、星 學下郷町長のご挨拶をいただいた後、星（定）副会長の「乾杯」の音頭でパーティーを開始しました。

(1) 今年の会場は、基本的には昨年とほぼ同じ形態とした。
(2) 今回のメニューの件に、張平の里いもを使用した「芋煮汁」を提供した。好評であったため来年も続けたい。

一、アトラクション

今回のアトラクションは一つに絞り、町にお願いしました。

三志大神楽芸能保存会（会長 星 正平様）が快く受けていただき披露していただくことになりました。下郷にこんなすばらしいものがあるとは知りませんでした。心から感謝申し上げます。どうぞこれから町の発展、三ツ井の発展にご活躍されることを役員一同祈っております。

◎三志大神楽の由来

三志大神楽は大正九年に檜原小学校三ツ井分校が常設校になったのを記念し、地区の若者がお祓いを兼ねて神楽舞を演じたのが始まりで、途中二十年ほど休みがありました。現在は受け継がれていまます。家内安全、五穀豊穡を祈願し、町の郷土芸能として盛んに活躍しております。

二、大抽選会

今回の賞品は、下郷町から「特産品セット」、在京下郷会役員から「ラジオカセット」ほかの寄贈がありました。特別賞は、星町長と中野会長から差し上げました。

また、(株)若松通商代表取締役社長室井軍三様から「DVD付カラーテレビ」ほかの寄贈がありました。毎年寄贈をいただき心から感謝いたします。

三、合唱

今回の曲目は、昨年と同じ曲を唄うことにしました。
「ああ上野駅」、「誰か故郷を想わさる」を参加者全員で合唱しました。

四、盆踊り

「下郷甚句」をテーブルの周りを二周り踊ることができた。来年はもつともっと多くの人が輪となって踊ることを切に期待します。

五、二本締め

室井幹事長の発声で下郷町、在京下郷会及び皆様のご健康をお祈りご唱和しました。

六、閉会の挨拶

芳賀副幹事長から閉会のご挨拶を行い、交流パーティーは終了となりました。

◎写真撮影
星 學町長、中野会長を囲み集落別に写真を撮りました。

◎お礼

今回の在京下郷の集いは、皆様のご協力により大盛會に終わることができました。

星 學町長はじめ町関係者のご尽力の賜物であります。役員一同心からお礼申し上げます。

四、参加者の声

第二十六回在京下郷の集いに参加していただいた会員の皆様から、「集い」に参加してのご意見とご感想をいただきました。

在京下郷の集いに初参加!

会員（会津若松市・蕨市） 吉井 恒夫

会津高校同期の 高橋千代丸君 長沼

種臣君が 下郷会の幹部として 幅広く活動し 又 その郷土の観光 産業等の

広報に熱心な事は 我ら同期諸氏は勿論 他の会津関係会合の方々 否 否 偶

に一緒する居酒屋でも 皆々 承知であり その同期二人との交遊から中野会長

にも 諸々の会合 飲み会で同席させて いただき 杯交わす事にもなりました

そんな会合の折に 下郷町の話題が！ そしたら そうしたら いつのまにか話

が 下郷会に参加との話に飛躍 俺 下郷生まれじゃ無いけど！！と いや！下

郷を応援してくれば それで資格ありとの事で ハイ！喜んで参加させていただきます

と新会員に！！ 下郷会行事の初参加は 十月二十九日

の集い いや！たまげたくびっくりだ！なんと 力強く 団結力あり そして新

会員にやさしく話しかけて下さり 何と親身 親切な会合であるかと 高橋 長

沼 の同期が 自慢するのは当然であつたかと あの集いで 大黒様が会場を練

り歩いて撤いた 福のおひねり しっかり頂きました 次はどんな 行事案内が

来るのか楽しみな下郷会に参加出来ました事 喜びです 下郷町応援に一層の力

入れます

パーティー
乾杯後、佐藤雄平様の
下郷大黒舞により会は
華やかに開始されました



第 26 回 在京下郷の集い・交流パーティー

開会挨拶、来賓ご挨拶、懇談、アトラクション（三志大神楽）、抽選会、合唱、盆踊り、3本メの順序で行われました



中野会長



星 學町長



室井邦彦参議院議員



三志大神楽は大正 9 年から行われている伝統の地域芸能です

三志大神楽芸能保存会のメンバーご一同様 と 星正平会長のご挨拶



懇親会は昨年と同様に参加者の席・テーブルを指定したターンテーブル方式で行い、芋煮汁などの郷土料理が振る舞われました



議員、役員外



来賓外



来賓、役員外



在京下郷会

顧問 尾形 慎記

(中妻出身)



在京下郷会

監査 大竹 虎雄

(三ツ井出身)



在京下郷会

副幹事長 大竹 力夫

(落合出身)



議員、来賓、副町長



議長、町長



来賓、役員、議長



副会長、議員、役員、



江川地区会員、役員



旭田地区会員、役員、町民



楢原地区会員、役員、町民



議員、町民、楢原地区会員



旭田地区会員、役員

株式会社 Creative Egg



イベント企画・制作
テレビ番組・ラジオ番組
DVD 制作

代表 桜木知代

渋谷 Office 〒150-0042 東京都渋谷区
宇田川町2-1 渋谷ホームズ 1111
☎03-6452-5711 ☎090-1808-5060
那覇 Office 〒900-0036 沖縄県那覇市
西1-14-4 玉木マンション 1-B
✉komatsu@creative-egg.co.jp

グルメ・ドリンク・カラオケ ニューキプロス



千代田区外神田6-6-9 TEL 03-3831-5030
福田 光彦 (会津坂下町出身) 在京下郷会推薦・特割有



旭田地区会員、役員



江川地区会員、役員、町民



旭田地区会員、江川地区会員



楯原地区会員、旭田地区会員



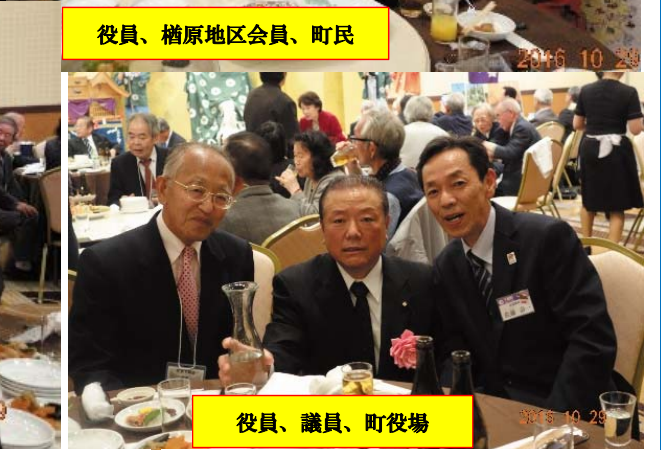
楯原地区会員、旭田地区会員、町民



役員、楯原地区会員、町民



楯原地区会員、旭田地区会員、町役場



役員、議員、町役場

 **在京下郷会**

幹事 **佐藤 俱子**
(湯野上出身)

 **在京下郷会**


会計 **前田 恵子**
(倉水出身)

 **在京下郷会**


監査 **佐藤 やすの**
(楯原出身)

 **在京下郷会**

幹事 **小山 博義**
(塩生出身)

 **在京下郷会**

副幹事長 **櫻木 博**
(落合出身)

 **在京下郷会**

幹事 **佐藤 隆志**
(大内出身)



役場、楢原、議員、役員



昭和 32 年卒楢中同級生、若松市会員、町役場、役員

大 抽 選 会：下郷町から特産品セット、在京会役員からラジオカセット、若松通商から DVD 付カラーテレビの豪華賞品



町長賞を当てた吉井さん



若松通商賞を当てた玉川さん



会長賞を当てた佐藤さん

盆 踊 り～下 郷 甚 句～
 花のナー盛りに しん止められて スッチョイサー スッチョイサー 咲くに 咲かれぬ たばこ花ー ハッヨウイットショ
 今回は大勢の方が参加し二廻り踊りました



■ 宿泊 ■ 宴会
 ■ 婚礼 ■ レストラン

JR・京成線日暮里駅南口徒歩 1 分
HOTEL LUNGWOOD
 ホテルラングウッド
 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5
 TEL 03(3803)1234(代) <http://www.hotel-lungwood.com>

！ネジを求めて 40 年！
(有)東葛螺子製作所

代表取締役 芳賀勝義
 〒131-0043 東京都墨田区押上 3 丁目 60 番 4 号
 電話 (03) 3618-0550 (代表)
 FAX (03) 3613-3578

合 唱：ああ上野駅、誰か故郷を想わざるを大きな声で歌いました



江川地区



檜原地区



旭田地区

五. 総会資料 (順不同)

議案第2号 平成28年度収支予算(案)					報告第2号 平成27年度収支決算				
収入合計 550,000 円					収入合計 603,142 円				
支出合計 550,000 円					支出合計 556,675 円				
差引残額 0 円					差引残額 46,467 円				
1. 収入 (単位:円)					1. 収入 (単位:円)				
科目	27年度 決算額(A)	28年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	摘要	科目	27年度 予算額(A)	27年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	摘要
会費	280,000	284,000	4,000	現年度分(72件)144,000円 過年度分(15件) 30,000円 翌年度分(5件) 10,000円 終身分(10件) 100,000円	会費	376,000	280,000	△ 96,000	現年度分(77件) 154,000円 過年度分(8件) 16,000円 翌年度分(5件) 10,000円 終身分(10件) 100,000円
寄付金	46,000	44,000	△ 2,000	在京下郷の集い賞品代寄付(役員)	寄付金	1,000	46,000	45,000	在京下郷の集い賞品代寄付(役員)
雑収入	45,009	75,533	30,524	在京下郷会だより 広告料(15件)、利息等	雑収入	30,867	45,009	14,142	在京下郷会だより広告料 (9件)、利息等
繰越金	82,133	46,467	△ 35,666	前年度より繰越	繰越金	82,133	82,133	0	前年度より繰越
繰入金	150,000	100,000	△ 50,000	基金会計より繰入	繰入金	100,000	150,000	50,000	基金会計より繰入
合計	603,142	550,000	△ 53,142		合計	590,000	603,142	13,142	
2. 支出 (単位:円)					2. 支出 (単位:円)				
科目	27年度 決算額(A)	28年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	摘要	科目	27年度 予算額(A)	27年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	摘要
会議費	24,840	30,000	5,160	常任委員会、役員会、 編集会議	会議費	35,000	24,840	△ 10,160	常任委員会、役員会、 編集会議
事務費	44,924	45,000	76	資料作成代、送料等	事務費	50,000	44,924	△ 5,076	資料作成代、送料、 インク代等
旅費	81,850	70,000	△ 11,850	各種会議等交通費	旅費	70,000	81,850	11,850	各種会議等交通費
交際費	29,050	35,000	5,950	各種総会等参加費 パーティー参加費	交際費	55,000	29,050	△ 25,950	各種総会等参加費 パーティー参加費
事業費	376,011	350,000	△ 26,011	在京下郷会だより印刷 代、在京下郷の集い経費 等	事業費	350,000	376,011	26,011	在京下郷会だより印刷 代、在京下郷の集い経費 等、旗製作費
雑費	0	10,000	10,000		雑費	20,000	0	△ 20,000	
予備費	0	10,000	10,000		予備費	10,000	0	△ 10,000	
繰出金	0	0	0		繰出金	0	0	0	
合計	556,675	550,000	△ 6,675		合計	590,000	556,675	△ 33,325	

在京下郷会役員名簿 (任期) H28年11月～H30年10月

役職名	氏名	出身地	備考	役職名	氏名	出身地	備考
顧問	尾形 慎記	中 妻	再 任	幹 事	佐藤 順昭	弥五島	〃
会 長	中野 善次	刈 林	〃		芳賀 公	沼 尾	〃
副会長	星 定雄	小 野	〃		室井 初男	十文字	〃
	長沼 種臣	弥五島	〃		佐藤 文章	刈 林	〃
幹事長	室井 軍三	小 池	〃		佐藤 学	小松川	新 任
副幹事長	芳賀 勝義	沼 尾	〃	会 計	星 洋武	新 開	再 任
	櫻木 博	落 合	〃		前田 恵子	倉 水	〃
	大竹 力夫	落 合	〃	監 査	大竹 虎雄	三ツ井	〃
	高橋千代丸	刈 林	〃		佐藤ヤスノ	樽 原	〃
幹 事	佐藤 隆志	大 内	〃	事務局長 町役場産業課長	佐藤 壽一	大松川	〃
	佐藤 俱子	湯野上	〃		事務局 町役場商工観光係	佐藤 隆行	中 妻
	小山 博義	塩 生	〃				
	仲島 昭義	姫 川	〃				
	羽染 作太	三ツ井	〃				

報告第 1 号 平成 27 年度事業報告		
事業 (年月日)	事業内容	備考
秋の親睦ハイキング (27.10.3)	場所：鎌倉市 長谷寺、鎌倉大仏（高德院）他 内容：拝観及び散策	参加者 23名
下郷町制執行 60 周年記念式典 (27.10.12)	場所：ふれあいセンター 内容：式典及び記念講演会	中野会長
在京下郷会 臨時役員会 (27.10.15)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：平成 27 年度在京下郷会の集いについて 他	中野会長 役員 18名
会津会 (27.10.24)	場所：台東区 上野精養軒 内容：総会及び懇親会	中野会長 高橋副幹事長
会津赤べこ会 会津紅葉の旅 (27.10.25～26)	場所：鳥追観音、河井継之助記念館、六十里越開通記念碑、田子 内容：奥会津、南会津の紅葉をめぐる旅碑 倉湖、駒止峠他	中野会長
第 25 回 在京下郷の集い (27.10.31)	場所：荒川区 ホテルラングウッド 内容：ふるさと懇談会、定期総会、交流パーティー	来賓 26名 会員 59名 非会員 8名 町民一般 14名 町職員 12名 アトクシヨ 5名 合計 124名
会津赤べこ会 秋季会 (27.11.6)	場所：新宿区 グランドヒル市ヶ谷本館 内容：交流パーティー	中野会長、役員 3名 会員 3名、一般 1名
会津喜多方会 (27.11.21)	場所：台東区 東天紅 内容：総会及び交流パーティー	中野会長 芳賀副幹事長
在京下郷会 臨時役員会 (27.12.26)	場所：台東区 上野精養軒 内容：第 25 回在京下郷の集いを顧みて	中野会長 役員 20名
在京下郷会 会報編集会議 (28.1.15)	場所：千代田区 船若松通商 内容：在京下郷会だより（平成 27 年 1 月号）の編集	中野会長 高橋委員長、委員等 7名
東京福島県人会 (28.1.29)	場所：千代田区 ルポール麹町ロイヤルクリスタル 内容：講演会及び新年会	中野会長
在京下郷会 臨時役員会 (28.2.17)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：役員会及び新年会	中野会長 役員 16名
在京下郷会 主要役員会 (28.3.23)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：櫻木博副幹事長 瑞宝双光章受賞お祝いについて	中野会長 役員 8名
春の親睦ハイキング 観桜会 (28.4.2)	場所：葛飾区 水元公園 内容：桜観賞及び園内散策	参加者 25名
下郷町長訪問 (28.4.18)	場所：下郷町役場町長室（副町長、産業課長同席） 内容：下郷町の近況について	中野会長
会津赤べこ会 会津の桜をめぐる旅 (28.4.24～25)	場所：喜多方市 会津若松市 内容：日中線跡しだれ桜並木、会津大仏、鶴ヶ城、飯盛山他	中野会長
会津郷土フェア (28.5.10)	場所：新宿区 東京オペラシティタワー18 階 内容：物産品販売、観光 PR	中野会長 役員 4名、会員 1名
おいでよ南会津。観光物産フェア in 東京都庁 (27.5.10)	場所：新宿区 東京都庁第一庁舎 全国観光 PR コーナー 内容：物産品販売、観光 PR	中野会長 役員 4名、会員 1名
会津赤べこ会 春季会 (28.5.13)	場所：新宿区 グランドヒル市ヶ谷本館 内容：交流パーティー	星學町長、湯田（浩）係長、 中野会長、役員 7名
東京福島県人会 春季総会 (28.6.11)	場所：千代田区 ラポール麹町ロイヤルクリスタル 内容：役員会 総会、懇親会	中野会長
櫻木博氏 瑞宝双光章受賞お祝いの会 (28.6.21)	場所：台東区 上野精養軒 内容：瑞宝双光章受賞お祝い	中野会長 役員 13名
ふるさと南会津会 (28.7.3)	場所：文京区 東京ガーデンパレス 内容：総会及び交流パーティー	中野会長 長沼副会長
在京下郷会 臨時役員会 (28.7.23)	場所：台東区 上野精養軒 内容：第 26 回在京下郷会の集いについて	中野会長、役員 16名、 会員 3名、非会員 1名
在京下郷会 第 22 回常任委員会 (28.8.3)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：第 26 回在京下郷会の集いについて 他	中野会長 役員 14名
下郷町観光キャンペーン (28.8.27)	場所：豊島区 池袋西口公園 内容：物産品販売、観光 PR	中野会長 役員 5名
東京福島県人会 (28.9.16)	場所：千代田区 都道府県会館 内容：地域・職域県人会・高等 学校同窓会と東京福島県人会との合同交流会	中野会長
第 26 回 在京下郷の集い打合せ (28.9.30)	場所：荒川区 ホテルラングウッド 内容：会場確認 他	中野会長、長沼副会長、 室井幹事長、佐藤事務局長 事務局員 1名

議案第 1 号 平成 28 年度事業計画 (案)

1. ふるさと下郷の主要な年間行事、各種イベント等に参加協力協賛するとともに、相互の情報交換を密にし、下郷町の発展に寄与する。
2. 会員の拡大と組織強化、会活動の再構築に資する活動を展開する。
3. 本会の活動状況やふるさと情報等に根ざし、会員の共通意識を醸成させるため会報「在京下郷会だより」を発行する。
4. ふるさと下郷町内において、在京下郷会加入を促す。
5. 他のふるさと会との懇親を深め、会目的達成の先進事例等研鑽に努める。
6. その他、会則第 3 条の目的を達成する事業を役員会、部会等で具体化し事業を実施する。


◎主催事業


1	会報の発行	会報「在京下郷会だより」の発行 時期：平成 29 年 1 月下旬～2 月上旬
2	町広報誌の送付	「広報しもごう」の毎月送付 町や県主催の首都圏イベント情報発信
3	第 27 回在京下郷の集い	日程：平成 29 年 10 月 28 日 (土) 場所：東京都荒川区 ホテルラングウッド 内容：・ふるさと懇談会 ・定期総会 ・交流パーティー
4	観光 PR 及び物産品等販売協力	町 (観光協会)、会津赤べこ会、 東京福島県人会等
5	その他	親睦ハイキング (観桜会、紅葉観賞会)

監査報告書

平成 28 年 10 月 27 日、在京下郷会の平成 27 年度収支決算について監査した結果、諸帳簿は整備されており、適正と認めます。

平成 28 年 10 月 29 日

監査 大竹 虎雄 

監査 佐藤 ヤスノ 

議案第 3 号 役員選任

新任	佐藤 学 (小松川)
----	------------

報告第 3 号

平成 27 年度基金会計収支決算

預入先	東邦銀行 会津下郷支店
口座名義人	在京下郷会基金会計 事務局長 佐藤 壽一
利息	平成 27 年度 53 円
預金現在高	451,268 円



在京下郷会

幹事 佐藤 順昭
(弥五島出身)



在京下郷会

幹事 佐藤 文章
(刈林出身)



在京下郷会

副幹事長 高橋 千代丸
(刈林出身)

町のライブカメラから見えるもの

顧問(中妻) 尾形 慎記

既にご存じと思うが、下郷町のホームページから左図のタブをクリックすれば下郷町の今を見る事ができる。



そのポイントは、湯野上温泉駅、塔のへつり、観音沼、道の駅下郷、大内宿の今の様子等である。「今後さらに戸赤の山桜」等が見られるようになれば観光客も旬の景色を見に行けると思う。

平成二十一年十月二十日には、撮影の神秘的な絶景ポイントにカメラ愛好家が集まって沼の周囲を囲み、三脚を立てる隙間がなかったほどの人気であった。その時撮影した写真を下記に添付する。

しかし、気になることが一つある。それは、町のライブカメラの映像を見る限りでは、神秘的浮島と町では表現しているものの、このままでは浮草が繁殖して水面積を狭め、水面に映える紅葉とのバランスの取れた神秘的な美しさが見られなくなってしまうのではないかとということである。毎年この景観を楽しみにしてこの地を訪れる大勢の写真愛好家の方々が残念がるような気がするのには考え過ぎだろうか。

湖水のメンテナンスは手間がかかって大変だと思いが現状確認して頂きたいと思えます。観音沼は町の貴重な観光資源なのでピカピカの観音沼を維持して頂きたいと思えます。

◎エピソード

平成二十一年十月二十日仲間十人で甲子温泉大國屋に泊まった翌朝、宿の主人に紅葉の絶景ポイントを尋ねたら「この時期で観音沼に勝てる場所は無い」と云われた。

それならば私の出番だ！と云う事で観音沼を案内をすることになり、早速車を走らせ、開通間もない甲子トンネルを通って観音沼に向かった。お昼近くに到着した時はベストポイントにはカメラが所狭しと立ち並びようやくこの写真を撮ることが出来た。

この時の仲間達の反応は「会津で生まれ育ったが、このような紅葉は見たことが無い」と言って大興奮だった。その時以来私の紅葉の絶景は観音沼のこの写真が頭から離れない。



写真は平成21年10月21日撮影

櫻木博氏 「瑞宝双光章」 受章

幹事長 室井軍三(小池)

このたび、在京下郷会役員、櫻木博氏が多年にわたり、社会に貢献された功績により「瑞宝双光章」を受章されました。

在京下郷会役員が発起人となり六月二十一日上野の森、精養軒(富士の間)で叙勲受章祝賀会が盛大に執り行われた。

来賓の方々には衆議院議員小原慎司氏、参議院議員室井邦彦議員秘書、藤生賢哉氏、下郷町からは星學町長、佐藤勤議長が出席され、また親交のあった方々で五十名ほどの出席者となった。

芳賀公司会より受章者入場の発声があり、櫻木氏はパーティー会場を練り歩き席に付かれました。早速、室井幹事長の開会のことば、中野会長の挨拶、ご来賓の方々からは心温まるご挨拶をいただきました。続いて記念品贈呈、花束贈呈後、受章者本人の謝辞がありました。

尾形顧問の乾杯の発声で祝賀大宴会が封切られ、精養軒の美味しい料理、会津中将初しぼり、奈良萬初しぼりがテーブルに運ばれ、会も一段と楽しい雰囲気につつまれ、会員渡部重春様の「長持唄」のご披露があり、長沼副会長の万歳三唱、星定雄副会長による閉会の言葉で約二時間半のパーティーは終了致しました。

経歴は下表のとおりです。



経歴		経歴	
昭和 38 年 3 月	福島県立田島高等学校卒業	教養課	長期派遣者教養業務
昭和 38 年 4 月	警視庁警察学校入校	三宅島警察署	御蔵島駐在所
向島警察署	東京オリンピック警備に従事	運転免許試験場	技能試験官
第八方面本部	国士舘大学経済学部二部卒業	板橋警察署	強盗犯人を現行犯逮捕(警視総監賞受賞) 警部補に昇任
機動警ら隊	三億円事件の捜査に従事	小平警察署	放火事件指名手配犯を職務質問で逮捕(警視総監賞受賞)
特科車両隊	二輪車の安全スタンドの考案(科学技術庁長官賞受賞) 特許権取得	運転免許本部	違反者講習制度の草案作成業務に従事(警部に昇任)
第八機動隊	成田闘争事件、新宿騒乱事件、浅間山荘事件等の警備に従事	平成 17 年 3 月 31 日	警視庁退職(任警視)
志村警察署	京浜安保共闘による下赤塚交番襲撃事件の捜査に従事(巡査部長に昇任)	平成 28 年 4 月 29 日	叙勲・瑞宝双光章受章

第三十六回
「在京下郷会
春の親睦ハイキング」

担当幹事
 副会長(弥五島) 長沼 種臣

日 時 平成二十八年四月二日(土)
 場 所 水元公園(東京都葛飾区)
 集合場所 JR金町駅前
 出席者 二十五名
 天 候 曇り
 体感温度 寒い

第三十六回恒例の春のハイキングは二十五名の会員・会友と共に都民のオアシス水元公園に行ってきました。水元公園は都内唯一の水郷公園で東京ドーム二十ヶ分もの広大な公園で四季折々の草・木・はな菖蒲などが景観を彩ります。「メタセコイアの森」は、都内でも最大級で並木も美しく桜も見事に咲き園内を流れる小川にはメダカやザリガニが多数生息している。

私たちのハイキングの時は残念ながら桜は終わっておりましたが多種・多様の並木、花が沢山有りました。都内にもこんなに素晴らしいところがあるのかと関心しました。其の他諸々の神社、資料館、広場等が有りますので是非誘い合せて散策されたらどうでしょうか。

桜満開の水元公園を訪ねて

役員(三ツ井) 羽染 作太

春の親睦ハイキングは都内で水郷の景観を持つ水元公園です。皆さん十時三十分には全員集合(金町駅)。長沼氏の行動提起があり、足に自信がある部隊は元気に徒歩で現地へ向かう。私たちは土、日曜に二十分間隔で桜土手を経由して運行される十一時のバス便を利用する。少しでも近いところまで行きたい心理はみな同じ。満員のバスに揺られて一つ手前で下車する。曇り空ながら満開の桜を觀賞しながら進むと、健脚グループは先に着いていた。ここで恒例の買出しは公園入口にある酒店で調達する。広々とした遊歩道を小合溜(こあいだめ)に沿って歩く。家族ずれが多く宴を楽しんでいる。

大木のポプラ並木、「生きた化石」メタセコイアの森を通り、中央広場へ満開の桜の木の下にシートを敷き昼食が始まる。在京下郷会の特徴は女性たちが腕を振るって持ち寄る「おつまみ」である。これが食欲を誘い飲む量が進む。ふる里下郷弁が飛びかう中での歓談を満喫したひと時でした。今回も大竹さんのお孫さん「工藤幸之助君」の参加で平均年齢を若くしていただきました。

桜の下と「生きた化石」と言われるメタセコイアの森を背景に記念写真を撮る。
 広い公園しつかり散策し、「幸之助君」

のお手伝いでバス停に向かう。帰路のバスは満員で揺られ、渋滞もなく金町駅へ、ここで解散。2次会メンバーは居酒屋へ足が向かう。ここでも盛り上がり、二時間ほど懇談する。お世話になりました。

※メモ：水元公園は東京都葛飾区、埼玉県三郷市にまたがる。面積は九二一、三

九・九八㎡。樹木数は高木 約一九、一〇〇本。小合溜(こあいだめ)は遊水池のこと。桜土手は江戸幕府八代將軍吉宗の時代、江戸川の治水工事の一つとして、小合溜の整備と併せて江戸川の外堤防で全長三・五㎞あり、桜が植樹されている。



第36回春の親睦ハイキング 平成28年4月2日 水元公園 記念広場

在京下郷会

幹 事 **仲島 昭義**
 (姫川出身)

在京下郷会

副会長 **長沼 種臣**
 (弥五島出身)



第 36 回春の親睦ハイキング 平成 28 年 4 月 2 日 水元公園 メタセコイアの森



店舗・住宅家具一式・設計・施工



ユンケル工芸株式会社

代表 佐藤順昭

本社 121-0815 東京都足立区島根2-32-21-502
TEL・FAX : 03-3850-1354

工場 382-0123 栃木県栃木市川原田町1041-2
TEL:0282-24-4831 FAX:0282-24-4830

会津営業所
969-5204 南会津郡下郷町弥五島字中の内365
TEL:0241-67-2362

ホテルニュー魚眠荘



下郷産地粉を使って

故里の味を伝えています

〒111-0034

東京都台東区雷門2-20-4

Tel 03-3844-5117

Fax 03-3841-6566

E-mail:info@gyominso.jp



在京下郷会

会 長 **中野 善次**
(刈林出身)



在京下郷会

副幹事長 **芳賀 勝義**
(沼尾出身)



在京下郷会

幹 事 **芳賀 公**
(沼尾出身)



在京下郷会

幹 事 **羽染 作太**
(三ツ井出身)



在京下郷会

副会長 **星 定雄**
(小野出身)



在京下郷会

会 計 **星 洋武**
(新開出身)

第三十七回

「在京下郷会

秋の親睦ハイキング」

担当幹事

副会長 (弥五島) 長沼 種臣

日時：平成二十八年十一月十二日 (土)

場所：三溪園 (横浜市)

集合場所：JR桜木町駅

出席者 二十三名

天 候：晴

今回は第二十六回春のハイキング (平成十三年四月七日) と、同所に二度目となりました。幾度行っても横浜三溪園は立派です。良い所です。

三溪園は明治・大正時代に生糸貿易で財を残した実業家 原富三郎 (雅号 三溪) が作った十八万坪の日本庭園です。旧矢籠原家住宅、旧燈明寺三重塔、臨春閣、聴秋閣、旧天瑞寺寿塔覆堂など、多くの建物が重要文化財です。

当日は前週のような悪天候ではなく、好天の下、楽しく過ごすことができました。また、ご協力により東屋で食事が出来ました。バス停の選択も大変有り難うございました。皆さん今後のハイキング希望場所を考えてください。

★次回は平成二十九年四月一日 (土) の予定で、場所は未定です。



在京下郷会秋の親睦ハイキング 平成28年11月12日 三溪園 大池湖畔から鶴翔閣方面を望む



在京下郷会の金のたまご 工藤幸之助君と会長



三溪園 正門入口から園内散策 終日まぶしいような日本晴でした

会員サロン



空家対策について

会員（倉水） 猪股 万治

現在、全国で空家が八百六十万戸以上に及んでいることに皆さんはどのように思われますか、他人事と言っている場合ではありません。自分達が住んでいる地域でも空家は増加しているのです。また、それぞれの地区でも空家対策に真剣に討議が始まっています。

家屋は人が住んで長持ち・維持出来るのです。昔は多数の人々が一緒に住み賑やかに話し合いをしたことが昨日のようです。今では、子供は親元から離れ、独立独歩の生活（別居宅建築）をしており、一緒に過した家は親だけの住まいとなり、親が死亡すれば直ちに空家になってしまふのです。空家は傷みも増し、防災上の問題も生じるのです。

そこで、住める家屋を登録制にし、一家屋でも新たな入居を希望する方に相談の上、無償で貸与しては如何でしょうか。情報化社会の中でインターネット等を利用して「ふるさと創生」と組んで、二十〜三十万円で空家一軒を無償提供し、集めた金で相手方と話し合いの上、トイレ、キッチン等のリフォーム代に当て、都会と異なつて固定資産税の評価も安いので最低十年間、そこに住んで頂き、空家税の一部

と住民税は納付してもらい、また、農業を行いたい希望者には休耕地を幹旋して地域、町全体がサポートして住んで良かったと思える体制作りが大事だと思えます。下郷町もクラインガルテンが盛況の様子ですので、一歩踏み込んだ対策を立てたらどうでしょうか。是非ご検討頂き、過疎の町に少しでも活気が生まれることを期待してします。皆さんで良い知恵を出し合つて町繁栄に頑張つて未来を作りましょう。

新米幹事の学です。

役員（小松川） 佐藤 学

この度、在京下郷会の幹事を拝命しました佐藤学です。出身は旭田地区小松川で、会津高校、東京大学を経て日本航空に入社、航空マン一筋で還暦を迎えました。長男でありながら郷里を出、実家は先般取り壊し更地としましたが、これからは故郷に帰る回数を増やし、畑仕事をしつつ、故郷の訛り懐かしい方々との触れ合いを楽しみたいと考えております。

日本航空での会社員生活の中で、地元福島県の絡む経験として挙げられるのはやはり、二〇〇九年年一月末日での日本航空の福島空港からの撤退です。日航本社の経営企画担当役員として、経営状況の厳しい中、路線の再構築を図るべく、幾つかの就航地点からの撤退および路線の改廃を実践しましたが、それでも結果として日航は破綻し、多くの皆様に多大な

るご迷惑をお掛けしてしまいました。そうした中で福島の佐藤雄平知事を中心とした福島県庁との調整業務は私個人としても非常に辛いものでした。言わば、私は福島の地元からすれば、『非国民ならぬ、非県民』。そうしたなか、最終調整局面で、西松日航社長以下で福島県庁にお邪魔した際、面談の終わりに初対面の遠藤県会議長から「でも、一番辛いのは佐藤さんかもしれないね。」の一言を賜り、「救われません。」思いを抱いたことは今も忘れられません。という訳で、「地元への罪滅ぼし」と少しでも「地元貢献」をさせて頂きたく、在京下郷会で活動させて頂きます。どうぞ、宜しくお願い致します。



筑波山頂での筆者

ふるさとキャンペーンに率先垂範の星町長にエールを

役員（刈林） 高橋 千代丸

本誌第三十八号において、会員玉川一豊氏が、「地域振興に率先垂範の下郷町にエールを」と題して、「ふるさとアンテナ

ショップ」の活用による「さらなる下郷町の活性化・発展」を挙げています。

ふるさとアンテナショップは、地域情報の発信基地として、各都道府県、市町村等が運営しており、主な内容は、特産品の販売、観光およびグリーン・ツーリズムに関する情報提供、イベントの実施等々で、主に東京都心部に集まり、平成二十六年までに五十二店が開店し、その年の四月には、日本橋ふくしま館 MIOFFICE（見でつて）も開店して連日人々で溢れています。しかしながら問題としては、店の維持費が大きいという側面が挙げられています。

そこで下郷町が考えた対応策が、アンテナショップとしての優れた機能を有する既存の集客施設をタイミミングに借用し、そこに町長をトップにして町のキャンペーン実施部隊が出店し、下郷カラー一色のキャンペーンを実施するというものです（下郷町では町魅力発信事業と位置付けている）。私もこの事業には、そのキャンペーンの在京サポーターの一人としていつも参加し、この事業の効果を認識しています。今回は、その中の二つのキャンペーンについて紹介します。

(1) アンテナショップイン谷中銀座

二十八年十一月三十日、町魅力発信事業として二年前と同じ谷中銀座商店街で行われことになったため、中野会長以下役員数人と共に、在京サポーターとして参加した。今回のキャンペーンにおいて商店街一同から感心されたのが星學町長自らによる谷中商店六十店の全戸訪問で

ある。ある商店主は「ここでアンテナショップを出店する自治体はたくさんあるが、一軒一軒丁寧に挨拶回りする町長はめつたにいない。下郷町は礼儀に厚い町ですねえ」ということでした。勿論、その背景には町役場や町商工会の台東区、谷中地区要人との関係構築の努力が大きいわけですが、町長のキャンペーンに対する熱い思いと行動が地元を動かしたものと考えています。

(2)池袋での下郷町観光キャンペーン

二十八年八月二十七日、池袋西口公園で下郷町の観光キャンペーンが開催され、初日のオープニングセレモニーに中野会長以下役員数人と共に在京サポーターとして参加しました。池袋は星町長が役場の職員時代に、大消費地とのホットライン構築のために何度も訪問したところであるという。当日のキャンペーンについて豊島区長の行動記には、次のように記されている。

★池袋西口公園にて、下郷町・下郷町観光協会主催の復興支援イベント「下郷町観光キャンペーン」が開催されました。オープニングセレモニーでは、下郷町の伝統芸能「大黒舞」から始まり、郷土芸能「天狗様」、ゆるキャラ「しもじろー」「キビタン」なども登場、開場とともに大勢の人で賑わいました。

私(豊島区長)も星學下郷町町長からいただいた下郷町の半被を着て、ご挨拶をさせていただきました。また、会場内では下郷町のPR、名産品・物産品の販売の他、温泉による足湯体験・こけしの絵付け体験、よさこい演舞なども行われ、下郷町を

十分に味わうことができました。このようにこの種のキャンペーンでは町長自らのパフォーマンスがイベント効果に与える影響は非常に大きいことが実証されています。改めて下郷町観光キャンペーンに率先垂範の星學町長にエールを送りたいと思います。



大好評であった星町長の一軒一軒の挨拶廻り



谷中での恒例のテープカット



池袋西口公園 大好評のよさこい演舞



在京下郷会サポーター



下郷町の半被を着て挨拶をする豊島区長

地域貢献

会員(刈林) 佐藤 利子

私には三人の子供(女子)がいます。子供が小中学校の時にPTA活動をしてみました。三女が中学校を卒業した時から私もPTA活動も卒業です。その時代は私も仕事をバリバリしていましたのでホットしました。それから二年後、町会長から青少年地区委員と町会の会計とのお話があり悩みましたが引き受けることになりました。

青少年地区委員四年、会計十八年間やり、今は副会長として六年目です。町会の行事は沢山あり会合は必ず出席しますが大変です。今力を入れている事は自主防災会です。必ず来るであろう大きな地震に備えた行事の取り組みとして①自助(自分の命を一番に守る)、②共助(近隣と心通わせ助け合う)、③公助(行政が行う)があります。私たちができる自助、共助によって地域コミュニティ、防災に対する住民一人一人の意識革命を行っています。皆さまも防災訓練に参加してはいかがでしょうか。



在京下郷会

幹事長 室井 軍三
(小池出身)



在京下郷会

幹事 室井 初男
(十文字出身)

在京下郷会の皆さまに「感謝！」

会員（美里町・世田谷区） 遠藤利信

平成二十八年から会員の仲間入りをさせて頂きました遠藤利信と言います。出身地は旧高田町です。小三から高三までの十年間を高田で過ごしたので、少年の頃の思い出も出身地も高田と言う事になっております。ただ、高田は借家住まいだったので土地も実家も元々在りません。しかし、七十五歳になった今も望郷の念はどこかに残っていたようです。

二十数年前から高校の同期会に参加してきましたが、その縁で、会津会、会津赤べこ会、美里会などに誘われるままに参加して参りました。そんな席での或る時、赤べこ会の会長に「会津赤べこ紅葉の旅」が残りに二名となっているので参加しないかと誘われ、酒の席の勢いもあつて参加することにしました。

そんな経緯の赤べこ紅葉の旅でした。塔のへつり、大内宿、観音沼を巡りながら、そうだ！高校時代に千代丸さんの案内で来たところだ。当時はこんなに全国的に有名な観光地とは知らなかったが・・・。ずるいよ、こんな良いところが故郷だなんて！

一方、だいぶ以前からですが、赤べこ総会などのイベントでは下郷会の席にお邪魔することが多くなり、下郷会の存在の大きさと魅力に惹かれるように下郷会の席に溶け込み、気が付いたら我が物顔でふるまっていました。しかし正式には先

日の三溪園のハイキングが会員になっての初参加でした。温かい雰囲気の中で一日を過ごさせて頂きました。有難うございます。これからも体の続く限り積極的に参加したいと思っています。

最後になりましたが、下郷町役場から三度目の広報誌が届きました。町の事を全く知らない自分ですが、地元の方々の活躍、学生生徒の健闘、出生児の事まで良く解り、興味深く読んでいます。先日微力ながらふるさと納税にも参加させて頂きました。今後とも、この馬の骨だ などと言わずお付き合いさせて頂いてください。

編集だより

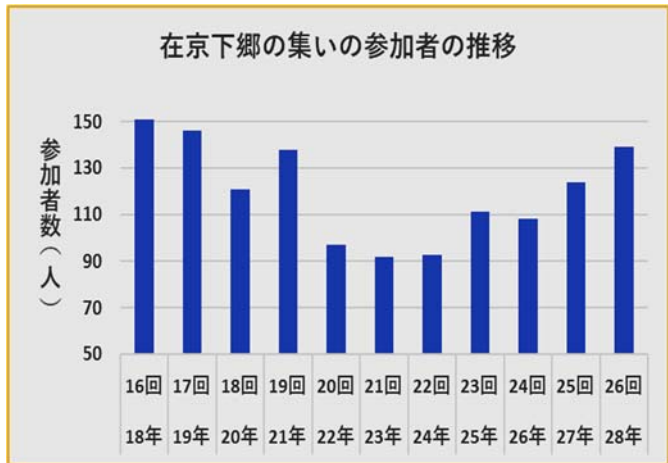
第二十六回「在京下郷の集い」は、二十一年・第十九回に並ぶ百三十九名の参加者に恵まれる大盛況となった。「集い」の参加者は表1に示すように、大震災の二十三年・第十九回を底に着実に増加傾向にあるものの、十年前の百五十名には遠く及びません。そこで、昨年の「ふるさと懇談会」では、町・在京会は一体となって、会員増加・集い参加者増加に取り組むこととなりました。

基本方針としては、「集い」は、会的目的である「会員相互の親睦を図ると共に、ふるさととの情報交換を密にし、下郷町の発展に寄与する」ための「会員相互及び地元との親睦を図るための事業」であることを再確認しつつ、諸施策を計画・実行するということです。

具体的には、「集い」に賑わいとふるさと雰囲気高め対策として、
①「集い」時に、町特産品販売を実施する。
②「集い」では、町の食材を使った料理メニューを提供する。

③「集い」を、同級会の場として利用する。
④二十五回から取り入れた盆踊り「下郷甚句」の踊り参加者を増加する。
の四案が今回の「集い」で実施された。

効果の詳細及び評価については、町長・会長・幹事長のご挨拶や関係者の本誌へのご寄稿に示されているので割愛しますが、参加者数・会の雰囲気・熱気・盛り上りとも基本方針通りの成果でありました。次回からも種々改善策を取り入れ、事業の完成度を高めて行きたいと考えております。引き続きのご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。



一方、高齢化・マンネリ化しているとのご批判をいただいている春・秋の親睦ハイキングでは、今回も、大竹(力)副幹事長のお孫さんである工藤幸之助君が一段と成長した姿で参加していただき、車座での懇親会雰囲気弾ける様な息吹きを漂わせてくれました。来年はお友達を連れて是非参加ください。お待ちしております。

編集委員会は、「在京下郷会だより」を通して、下郷町と在京会会員との協力・連携が強まり、より一層未来に力強くつながることを願いつつ、多くの方々からのご寄稿による会員相互の活発な交流の実現を目指しております。引き続きのご寄稿を切にお願いする次第です。

なお、今年度の主な行事を左記にご案内致します。多くの会員様のご参加を期待しております。

※在京下郷会だよりの用紙は、再生紙を使用しております。

編集委員長

役員(刈林) 高橋千代丸記

★平成二十九年の行事予定

①春の親睦ハイキング

平成二十九年四月一日(土) 場所 未定

②秋の親睦ハイキング

平成二十九年十月頃 場所 未定

③第二十七回在京下郷の集い

平成二十九年十月二十八日(土) 場所 ホテルラングウッド